



めぐみっこだより 104号

平成30年9月12日 発行

暑さも和らぎ、朝夕の風に秋の気配を感じます。虫たちのコンサートも聴こえてくるこの季節。めぐみ第二保育園では運動会の練習が始まり、子どもたちは、体操や競技などに元気いっぱい取り組んでいます。日頃の0~5歳児までの子どもたちの成長のようす、きらめく一瞬が、ご覧いただけるとと思います。地域の方の参加競技、紅白すずわり（お土産付き）もごさいますので、お友達やご近隣の方、お誘いあわせの上、是非、遊びにいらして下さい。

- ・日時 平成30年10月20日(土) 9時スタート
- ・場所 新町小学校グラウンド（雨天の場合 ⇒ 体育館）

☆ 子どもにとっての泥んこ遊び

暑い夏の期間、ご家庭でも、お子さまと水遊びを楽しまれたことと思います。季節に限らずに、水、砂、土を自由に使って遊べる環境は子どもの成長にとって、大変大事です。こどもは、家の中では感じることの出来ない、泥や砂の感覚、水と混じるとどうなるのかといった、気温や天気によって変わる大地を全身で感じています。



ぼくは、水や砂の感触が大好き♪ いろんなものと混ぜて遊べるのが好き！（ものの変化という科学的な学び、分量を量ったり計測する数学的な学びに繋がります。）

親にとっては洗濯物が気になる場所ですが、五感を使って、どろんこになって遊びを楽しむことには、子どもたちのこころとからだを開放し感覚統合を発達させる重要な働きがあります。大きなケガをしなくなり、病気への抵抗力をつけるといった、健康な身体作りにも役立ちます。戸外でこうした素材に直接接触れることは適度な刺激となり、皮膚も鍛えられ、また雑菌に対する抵抗力も強くなります。

体を動かす遊びで、ぼくは、自分の身体能力やぼくができることの限度がわかります。それに、どういうふうに身体をうごかせばいいのか、身体の仕組みについて学びます。そして、遊びを通じて、ぼくの体は次第に強くなっていくし、反射神経だって鍛えることができるよ！



社会性の観点からも、遊びを通して、仲間、集団が出来やすくなります。時には道具の取り合い、イメージの違いなどからトラブルになることもあります。そうした違いを経験することもその後の人生において非常に大切な人間関係を学ぶという体験になります。

大人の私たちがいつの間にか身に付けてきた感覚を、子どもたちは、今この瞬間、習得する体験をしています。チャンスがあれば、是非、子ども時代にしかできない自然体験をいっぱいさせてあげてください。

今月のホール開放では、砂場でのどろんこ遊びに取組みたいと思います！！



子どもたちは砂遊びが大好きです。遊びを通じて子どもの創造力と想像力は養われていきます。おなじみのくまくんがシャベルとバケツを使って存分に遊びます。

